



原水爆禁止世界大会

初めてヒロシマデー集會に参加して



8月6日（土）に、3年ぶりにおこなわれた原水爆禁止2022年世界大会「ヒロシマデー集會」に、初めて参加しました。特に今年はウクライナ侵攻によるロシアの核使用の危険性もあったので、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）の事務局長の話など、国内外からの参加

者の核廃絶と平和についての思いを聞くことができる貴重な時間になりました。

その中でも高校生や大学生たちが署名活動や勉強会を開いたり様々な活動をしている話を聞くと、まだまだ日本も捨てたものではないなと思えたのと同じに、「若い世代や子供たちに良い未来を残すためには、どうすればいいのか？」と、色々と考えさせられる一日になりました。

【石川記】

広島県連「事務局員交流会」

協力して困難を乗り越えよう



力を合わせ、中小業者の困難打開を

8月8日（月）、RCC文化センターで広島県連「事務局員交流会」が開催され、北民商からは陶山事務局長と牛田事務局員の2名が参加しました。

始めに寺田県連事務局長から、「広島県連第53回総会方針の実践へ、『営業動向調査の成功』、『インボイス制度の中止・延期』、『コロナ支援制度の充実』、『民商ならではの相談活動』、『5000名会員・8000名読者の回復』を」と、「報告と問題提起」がありました。

その後、実務学習で労働保険について広島民商の高岡事務局次長が講師となって、労働保険手続きや特別加入制度の注意点などを学習しました。

午後からは2グループに分かれて分散会が開かれ、各民商の事務局員が共有したい活動の報告や問題や悩みなど話し合いました。この民商も試行錯誤をしながら活動をして

るのがよくわかりました。

「コロナの感染状況が空前の規模で広がる中、営業動向調査を手に対話を広げ、要求あるものを先頭に危機打開を目指す運動の前進が求められています。個々ではなく事務局・役員・会員みんなで協力をして困難を乗り越えていかなければいけないと改めて思いました。」

【牛田記】



2つの分散会では、活動の悩みや解決策などを共有

日曜集団健診を受診した共済会加入者の皆様へ

再検査推進活動のお知らせ

広島北民商共済会では昨年度に引き続き、集団健診を受診された方が、その後の「再検査」も含め、健診機会を活かしてもらおうと、再検査の推進活動に取り組んでいます。

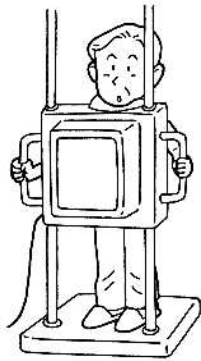
【対象者】今期（2022年4月～2023年3月）の日曜集団健診の結果で再検査が必要となった方で、実際に再検査を受けた方。

【支援内容】再検査受診者に2000円分のクオカード

か商品券を、後日お届けします。

【申請方法】再検査を受けた際の支払済の領収書（コピー）を、共済会事務局（民商事務所）まで提出してください。FAXでも持参でもOKです。

※「再検査」は、広島共立病院の他、紹介された他の病院でも対象になります。「今回の健診の再検査」でない受診は対象外です。



※再検査の推進が目的です。再検査費用が2000円に満たない場合でも対象になります。

《お願い》健診や治療など、健康に関する声もお聞かせください。参考になる話など、北民商ニュースでもお知らせして行きたいと思

【広島北民商共済会】

いっしょ

- ◎22日（月） 三役会
- ◎23日（火） 法人学習会 昼・夜
- 税金道場
- ◎24日（水） 無料法律相談
- ※要予約 昼2時
- ◎25日（木） 陽気な道場

融資、多重債務・サラ金、滞納のご相談は『陽気な道場』へ 毎週木曜日 夜7時から

法人の会員さんも一緒に税金学習を『法人学習会』 毎月第4火曜日 昼1時30分と夜7時 『税務調査の対策会議』は随時開催します!!